

電波利用料の見直しに関する意見 (平成26～28年度電波利用料)

2013年4月22日
ソフトバンクモバイル株式会社



特性係数の見直し時期 ①

「次期電波利用料の見直しに関する基本方針」(平成22年8月30日)

次期電波利用料の見直しに関する基本方針

別紙1

I 次期(H23～25年度)の電波利用の動向

電波利用ニーズの急速な拡大・多様化

- ①地上デジタル放送への移行(平成23年7月)、空き周波数帯への新規システムの導入(4K・8K放送、携帯電話、ITS等)
- ②移動通信分野の通信量の爆発的な増加(平成19年から平成29年までの間に220倍に増加する見込み)
- ③第4世代携帯電話等のワイヤレスブロードバンドによる国民生活の利便性向上(平成23年に国際標準化)
- ④娯楽、教育、医療、生産、物流、交通等の多様な分野で電波利用が拡大、新サービス・新ビジネスの創出
- ⑤ホワイトスペースの活用等を通じた地域メディアの実現による地域の社会経済活動の活性化等

II 次期電波利用料の見直しのポイント

①既存使途の歳入の効率化、②電波の有効利用の一層の促進、③電波利用料への電波の経済的価値の一層の反映という方向性に基づき、以下のとおり見直ししていく。

1 電波利用料の予算規模等

- ・地デジ移行対策経費が年間100億円程度の増額が見込まれる中で、地デジ経費を含め既存使途の歳入の効率化
→平成22年度の歳入総額は約710億円。平成23年度は概算要求において約712億円を要求。
- ・平成22年度の歳入と歳出の差額については地デジ移行対策の後年度負担の償還など電波利用公益事務への支出に充てることが適当であり、23年度以降においてはこうした差額が生じないようにすることが必要

2 電波利用料の使途

- 既存使途の歳入の効率化を図りつつ、電波の有効利用の一層の促進を図るために、以下の施策を重点的に推進
- (1) 周波数再編の促進
 - ・移動通信分野等の周波数の利用ニーズの急速な拡大に対応するため、周波数再編を加速するための新たな支援スキーム(周波数移行先の無線設備の取得費用等の支援)を検討
 - (2) 電波の共同利用の促進
 - ・電波利用料の使途として、有限希少な電波を空間的・時間的にさらに稠密に利用するため、ホワイトスペースの活用等を図るための環境整備のために必要な施策を実施
→ホワイトスペースの活用等を図るために必要な研究開発、技術試験事務の推進、電波の利用状況の情報提供(「電波の見える化」)
 - (3) 研究開発、実証実験、国際標準化の推進
 - ・電波の効率的な利用、電波技術の国際競争力の確保の観点から、研究開発、実証実験、国際標準化の推進

3 電波利用料の料額

(1) 電波の経済的価値の一層の反映

- ・電波利用料の料額のうち、電波の経済的価値を一層反映させるために各無線システムの使用帯域幅に応じた負担部分を拡大
- ・代わりに、無線局数で按分して負担する部分が縮小することにより、無線局毎にかかる電波利用料(携帯電話端末局の場合は現行は年間250円)の低減が可能となり、今後の様々な分野への無線利用の拡大を一層促進
- ・ただし、この結果、料額が大幅に増加する無線局等については料額を一定の水準にとどめる等の配慮が必要

(2) 無線局毎の料額体系の簡素化

- ・無線局数で按分して負担する部分については、各無線局のデータベースのデータ使用量に応じた負担額を計算しているが、コスト低減を踏まえ、無線局数での単純な均等割りによる統一単価に移行
- ・これにより、携帯電話基地局(3,000円)や地デジ難視対策用ギャップフィラー(6,100円)等についても、大幅な低減化を実現し、携帯電話や地デジのエリア展開を周辺環境に配慮しつつ加速し、電波の有効利用の一層の促進
→携帯電話基地局の場合は、3,000円から200円程度の端末局と同じ最低単価となり約15分の1の低減化

(3) 使用帯域幅毎の負担の在り方

- ・各無線システムの使用帯域幅に応じて負担する部分については、各無線システムの特徴を勘案しているが(特性係数の適用)、次期については免許人の負担の急激な変化にも留意し、現在適用している特性係数に関しては基本的に維持するが、中期的に見直しを行い、現行の特性係数に替わるべき新たな措置を周波数帯毎の電波伝搬やシステム毎の電波利用形態等も踏まえ、検討する

地デジ移行対策の受益に対する負担を行うことが適当であることから、基本的に新たに特性係数の適用は行わない

- ・ホワイトスペースについては、駅前、大学構内、地下街、空港等の狭小なエリアや閉空間等での利用が中心であり、また、地域メディアとして社会経済活動の活性化に資するものと考えられることから、当該無線局からは無線局数で按分して負担する部分(b群相当部分)のみを徴収

※ 国民の生命、財産の保護に著しく寄与するもの(1/2) 等

次期電波利用料の見直しに関する基本方針(平成22年8月30日)

(3) 使用帯域幅毎の負担の在り方

各無線システムの使用帯域幅に応じて負担する部分については、各無線システムの特性を勘案しているが(特性係数の適用)、次期については免許人の負担の急激な変化にも留意し、現在適用している特性係数に関しては基本的に維持するが、中期的に見直しを行い、現行の特性係数※に替わるべき新たな措置を周波数帯毎の電波伝搬やシステム毎の電波利用形態等も踏まえ、検討する

※国民の生命、財産の保護に著しく寄与するもの等

3年前に「中期的に見直しを行う」とされていることから、放送と通信のアンバランスを解消すべき

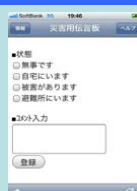
携帯電話も放送と同じく公共性を有している

東日本大震災ではライフラインとして活用された

通話、メール



Twitter、SNS、
災害伝言板



災害情報番組・速報 等

地震速報アプリ



ワンセグ



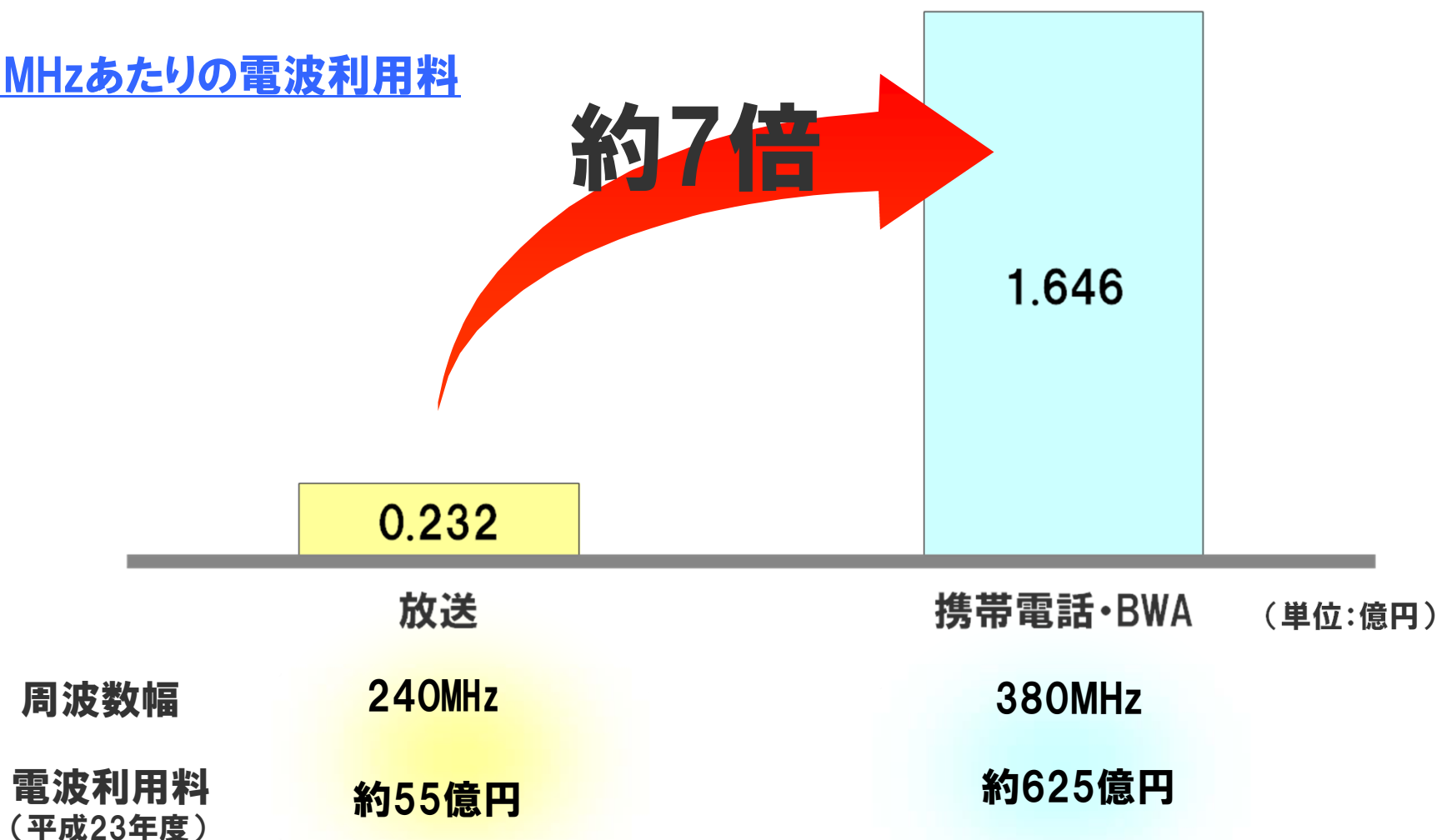
携帯電話



放送

放送と通信の料額アンバランス

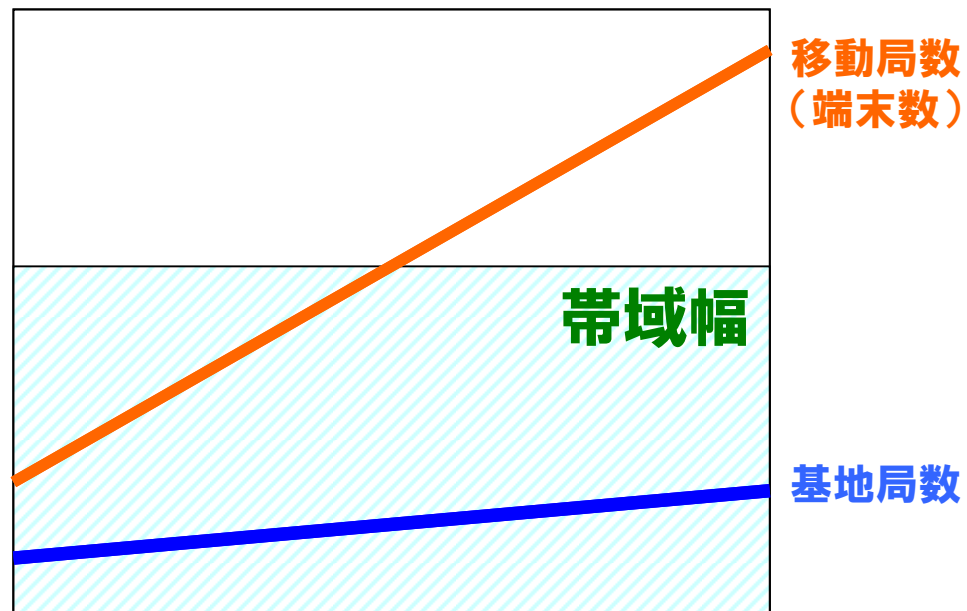
1MHzあたりの電波利用料



放送と通信の利用する周波数幅に対する料額のアンバランスを解消し、地上テレビジョン放送事業者に適用されている特性係数は廃止すべき

電波利用料の算定方法の統一

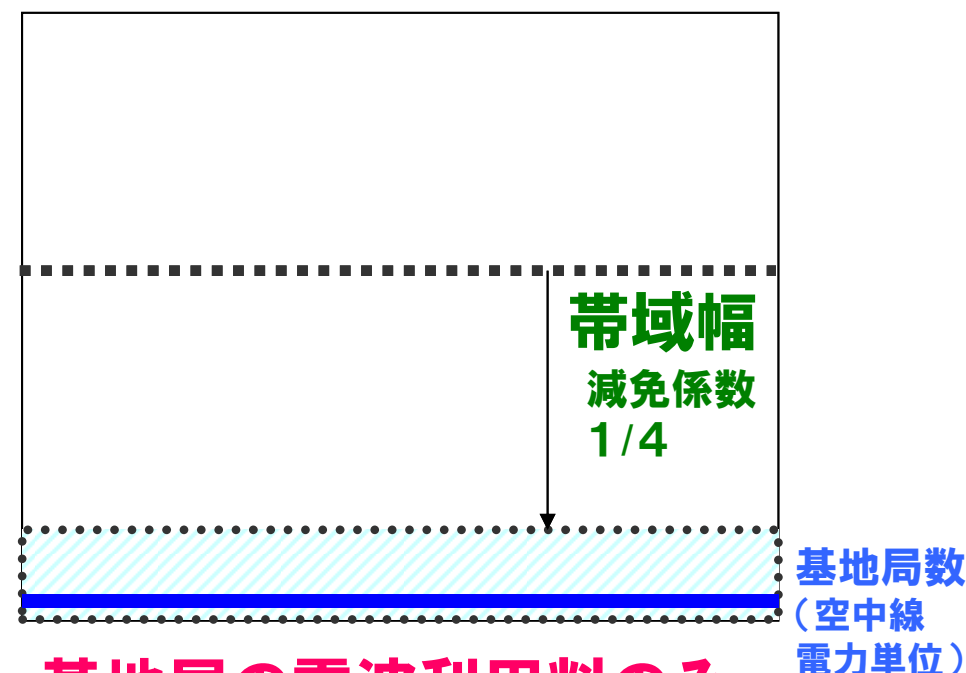
通信



帯域 + 移動局 + 基地局の電波利用料

一定の周波数の中で増え続ける無線局数に対応するため、新技術等の有効利用努力をしても1MHzあたりの電波利用料が減らない

放送



基地局の電波利用料のみ

価値の高い周波数において、狭帯域化・新技術導入等の周波数の有効利用が進まない

放送と通信の電波利用料の料額の算定方法を統一すべき

周波数幅に対する料額

7倍の差



アンバランスを解消すべき



携帯電話と放送は
同じ公共性がある
ライフラインの役割

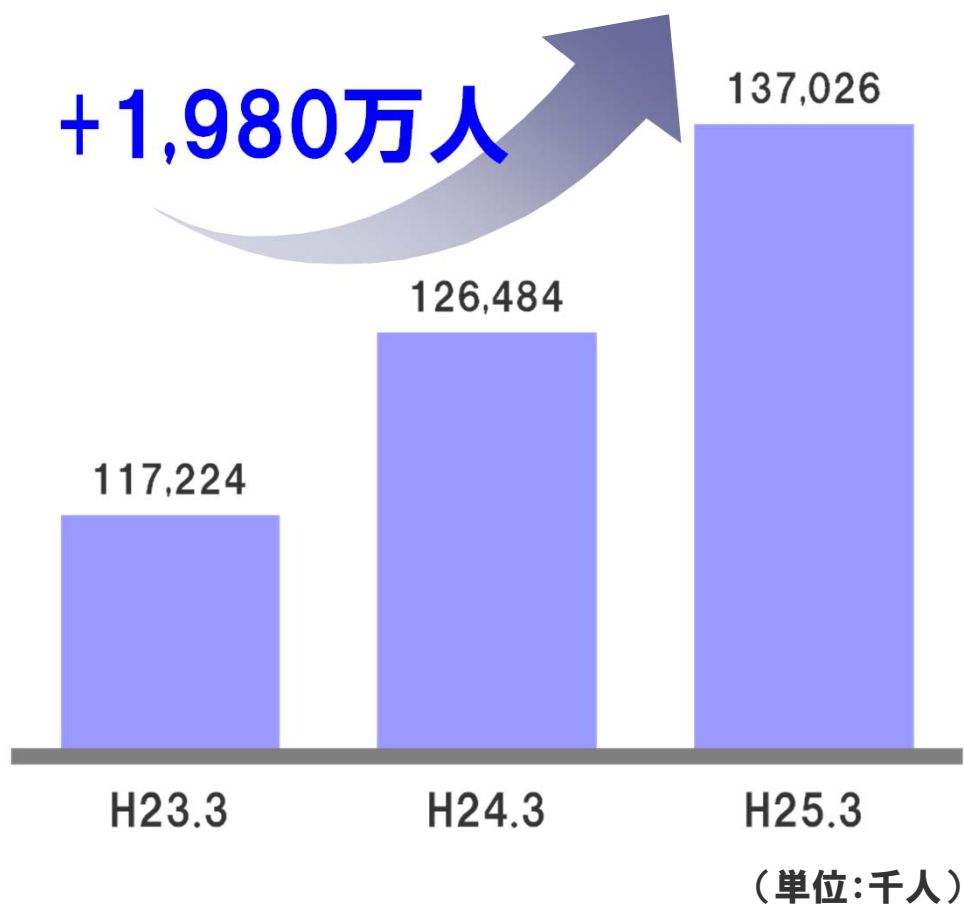


電波利用料の
算定方法の統一

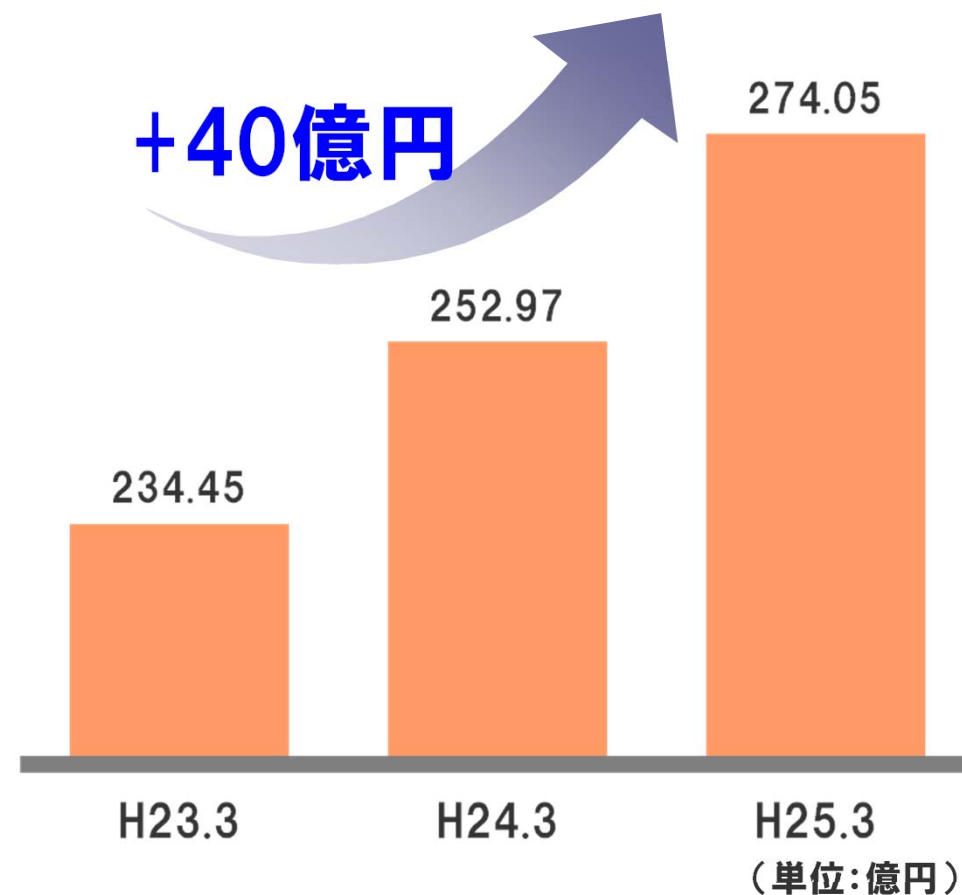
端末数と電波利用料の推移

SoftBank

端末数推移



端末料額推移



地上テレビジョン放送の周波数利用状況

地上テレビジョン放送 都道府県別チャンネル表

CH	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
北海道	24	24	30	38	22	35	27	42	29	36	31	28	22	22	13	25	31	25	28	30	21	26	11	15	20	16	19	22	32	32	38	28	33	29	27	29	25	16	12	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
青森	4	5	3	5	3	15	8	11	2	12	2	12	3	12	1	6	2	8	3	8	2	4	4	9	0	2	9	8	6	5	6	4	7	4	11	4	4	2	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手	10	9	11	12	8	10	4	11	7	12	6	10	12	13	11	10	11	12	5	7	4	8	5	16	6	17	8	11	6	7	7	8	5	12	6	10	4	7	2	3	1	1	6	1	5	0	1	1	1	0	
宮城	3	2	1	10	3	10	3	10	3	9	8	2	4	4	3	2	2	8	3	4	3	4	4	2	2	5	5	18	8	18	9	23	9	20	8	20	7	8	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
秋田	3	7	3	5	3	5	4	5	4	7	5	8	6	4	6	12	5	11	6	6	6	9	6	14	4	11	10	6	9	8	8	9	9	8	7	4	8	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山形	5	5	4	7	5	7	4	7	4	5	5	1	7	3	8	1	6	0	8	4	7	4	7	0	5	2	5	2	6	8	8	8	8	7	7	1	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福島	24	8	11	22	14	25	18	26	12	22	19	14	8	6	7	13	6	13	3	11	2	7	2	4	10	8	5	10	3	5	7	5	7	5	4	3	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
茨城	7	8	8	2	6	7	7	10	8	8	8	8	6	6	0	0	0	0	4	0	2	2	3	1	3	1	4	1	3	1	2	2	0	2	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
栃木	9	9	5	9	4	4	5	7	12	12	13	13	13	13	0	1	6	2	3	4	7	3	7	6	10	10	7	5	9	5	9	3	6	9	3	8	8	7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
群馬	11	13	7	9	8	13	7	14	10	9	8	9	9	8	2	2	10	4	4	4	3	5	5	3	6	6	5	3	4	2	2	8	1	6	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
埼玉	7	0	8	0	8	1	4	1	4	4	4	4	4	4	0	0	0	3	1	3	4	1	0	6	0	0	2	3	2	3	1	4	1	0	0	3	2	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
千葉	4	4	5	1	5	4	5	2	12	12	12	12	12	12	0	0	5	17	5	3	6	11	3	0	3	4	4	2	5	1	3	4	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京	4	3	4	2	4	2	2	7	6	6	6	6	6	6	6	1	4	3	3	2	3	4	5	8	3	8	6	7	1	5	4	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
神奈川	17	1	18	1	14	5	7	1	5	5	5	5	5	5	0	1	6	5	4	12	5	6	5	13	5	13	4	12	3	0	3	13	6	3	3	2	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
新潟	7	15	7	15	7	15	7	7	0	12	7	15	12	7	3	13	0	8	12	14	8	12	0	14	9	10	9	5	9	5	10	4	10	3	8	3	11	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富山	0	0	0	0	0	5	0	1	1	5	0	5	0	0	5	5	1	3	0	0	0	0	0	3	1	3	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石川	4	5	4	5	4	4	7	7	7	7	4	5	1	3	13	12	4	3	8	5	1	2	3	2	1	2	4	1	2	2	2	2	2	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福井	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	9	0	9	2	8	2	7	2	7	1	6	3	5	2	4	1	5	3	5	2	5	3	4	4	4	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山梨	3	1	3	0	3	0	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2	2	1	4	2	4	3	6	4	3	4	2	1	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長野	5	5	5	5	5	6	1	8	14	15	13	15	10	18	12	9	1	10	14	9	14	9	12	9	4	9	2	7	0	4	4	6	4	4	7	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岐阜	5	15	15	15	15	6	6	0	6	6	0	14	0	0	0	0	11	15	15	7	1	3	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
静岡	11	16	11	16	12	8	9	7	9	9	11	4	11	8	9	6	10	7	8	12	7	7	7	10	13	12	10	15	6	7	7	6	9	6	13	8	6	4	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛知	3	4	4	4	4	3	4	3	3	3	6	0	9	2	0	5	0	1	2	0	1	0	1	2	4	4	2	3	4	3	1	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
三重	3	2	2	2	2	8	8	0	8	6	1	3	0	0	7	3	3	1	3	4	4	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	4	1	0	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀	5	9	9	9	9	0	1	5	1	0	0	0	0	9	2	1	8	1	5	3	0	0	1	3	4	2	3	2	2	0	3	4	3	0	4	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
京都	12	9	9	9	9	0	3	0	4	1	9	0	12	0	3	5	4	8	2	0	1	0	1	1	2	3	2	3	0	3	1	0	2	0	1	0	3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪	4	6	6	6	6	4	0	0	3	0	0	4	0	0	3	1	2	0	0	0	1	0	0	1	1	2	1	2	2	3	2	5	1	1	4	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
兵庫	45	42	42	42	42	6	4	8	5	48	2	5	9	48	8	2	13	8	8	9	5	16	7	9	5	13	6	13	0	12	1	8	0	12	2	6	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良	3	1	2	2	2	0	1	4	1	1	0	0	1	1	2	1	1	2	4	1	1	0	2	1	1	2	1	2	2	2	0	2	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	20	19	17	14	14	0	1	14	5	2	16	7	4	4	4	8	4	2	1	3	5	6	6	4	6	5	7	2	7	8	1	6	0	5	9	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥取	11	11	12	12	6	4	8	3	2	3	3	2	4	3	1	1	2	2	2	2	0	0	0	3	3	3	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根	12	15	15	10	14	2	2	6	3	5	5	9	10	6	9	6	4	2	3	4	5	2	3	5	2	2	3	1	2	5	2	5	2	1	4	4	4	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山	24	10	15	10	13	3	28	6	8	15	0	5	0	5	6	13	9	6	9	19	5	14	0	9	7	14	11	10	8	8	9	8	12	10	23	7	13	7	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広島	10	15	17	26	23	15	17	16	16	17	17	5	13	5	12	21	22	15	8	9	9	18	7	15	17	14	16	11	4	13	8	15	5	10	8	7	9	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山口	7	2	3	7	5	6	5	6	2	3	1	6	9	10	5	0	4	8	1	9	3	12	1	14	10	5	7	15	13	11	20	9	12	11	10	10	17	13	9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
徳島	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	6	5	7	8	0	15	1	4	19	2	2	4	0	6	17	0	2	0	4	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川	4	1	3	4	2	3	2	4	5	4	0	4	1	3	4	1	2	4	8	8	4	0	2	1	5	2	0	2	0	3	1	3	2	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛	10	5	5	8	7</																																														

周波数有効利用に努め、一定の周波数の中で多数の無線局の利用を可能にすればするほど、電波利用料の負担が重くなる

地上テレビジョン放送も周波数を有効利用すべき

増加する無線局を限られた周波数に収容し、周波数有効利用のインセンティブを働かせるためにも、帯域の電波利用料に一本化すべき



SoftBank